

新旧対照表（第2期いいね！いぬやま総合戦略）

■新：CONTENTS 左側

いいね！ いぬやま総合戦略	
序章 はじめに	P 1
1 なぜ「いいね！いぬやま総合戦略」が必要なのか？ 背景と目的	1
2 位置付けと計画期間	2
3 策定のヒントがここにある！ 犬山市の特徴と課題の整理	3
計画策定のヒントがあります・・・ (1) まちの状況 (2) ひとの状況 (3) しごとの状況	
1章 人口ビジョン	P 5
1 将来人口の目標をどこに置くのか？ 人口ビジョン	5
将来人口を設定します・・・ 2060年人口ビジョン 60,000人 を堅持します	
出生率の向上 移動率の改善	
● 60,000人を達成すると何がかわるのか？	6
● 目標人口60,000人達成のために何が 필요한のか？	6

■旧：CONTENTS 左側

いいね！ いぬやま総合戦略	
序章 はじめに	P 1
1 なぜ「いいね！いぬやま総合戦略」が必要なのか？ 背景と目的	1
2 位置付けと計画期間	2
3 策定のヒントがここにある！ 犬山市の特徴と課題の整理	3
計画策定のヒントがあります・・・ (1) まちの状況 (2) ひとの状況 (3) しごとの状況	
1章 人口ビジョン	P 5
1 将来人口の目標をどこに置くのか？ 人口ビジョン	5
将来人口を設定します・・・ 2060年人口ビジョン 61,000人 を堅持します	
出生率の向上 移動率の改善 交流人口（滞在人口）の拡大	
● 目標人口61,000人達成のために何が 필요한のか？	5
● 61,000人を達成すると何がかわるのか？	6
● 人口減少を補うことが必要ではないか？	6

① 目標人口を更新しました。
また、新たな人口ビジョンでは、目標人口の達成を①出生率の上昇と②移動率の上昇によって目指すとしているため、「交流人口（滞在人口）の拡大」を削除しました。

② 目標人口を更新しました。
また、①で「交流人口（滞在人口）の拡大」を削除したことに合わせ、「●人口減少を補うことが必要ではないか？」を削除しました。

2 位置付けと計画期間

「いいね！いぬやま総合戦略」は、上記の状況を改善することに特化した計画です。
 国と愛知県の総合戦略を踏まえ、目指すべき人口の目標である「人口ビジョン」と人口減少の克服や地方創生に資する戦略を取りまとめた「総合戦略」で構成します。
 市の最上位計画であり全体計画である「第6次犬山市総合計画」を始め、各個別計画との整合を図りながら施策を進めます。計画期間は次のとおりとします。

人口ビジョン	2060年
総合戦略	令和2年度～令和6年度 (2020年度～2024年度)



2 位置付けと計画期間

「いいね！いぬやま総合戦略」は、上記の状況を改善することに特化した計画です。
 国と愛知県の総合戦略を踏まえ、目指すべき人口の目標である「人口ビジョン」と人口減少の克服や地方創生に資する戦略を取りまとめた「総合戦略」で構成します。
 市の最上位計画であり全体計画である「第5次犬山市総合計画(改訂版)」を始め、各個別計画との整合を図りながら施策を進めます。計画期間は次のとおりとします。

人口ビジョン	2060年
総合戦略	令和2年度～令和6年度 (2020年度～2024年度)

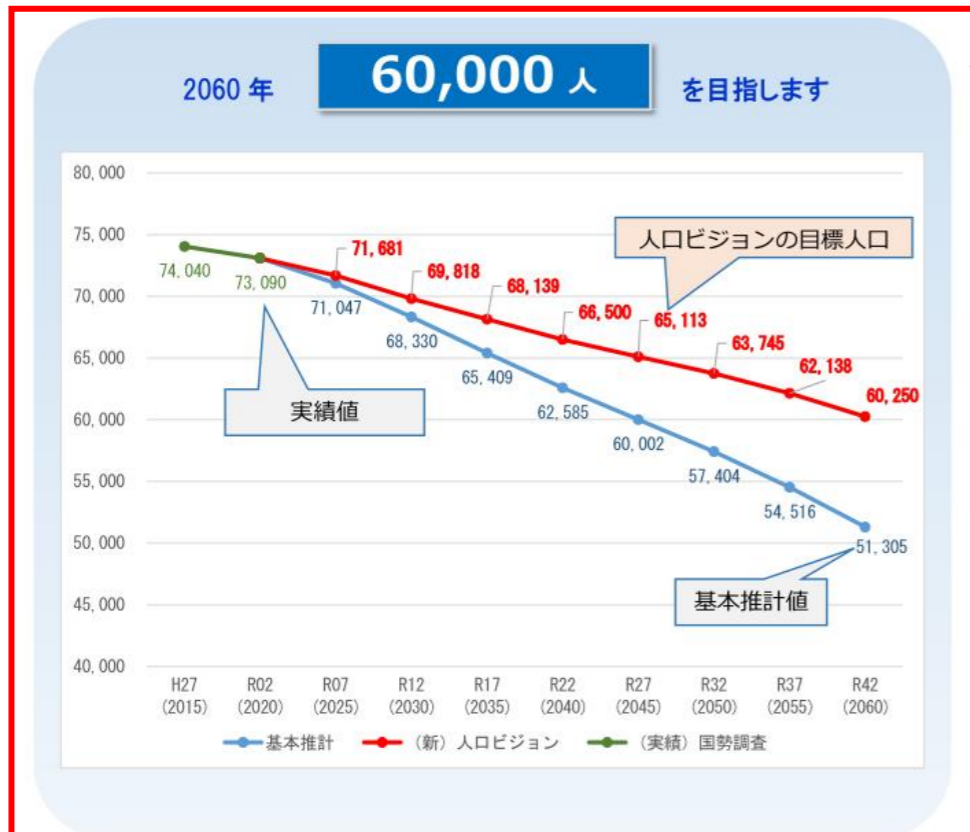


① 「第5次犬山市総合計画(改訂版)」から、「第6次犬山市総合計画」に更新しました。

1章 人口ビジョン

1 将来人口の目標をどこに置くのか？ 人口ビジョン

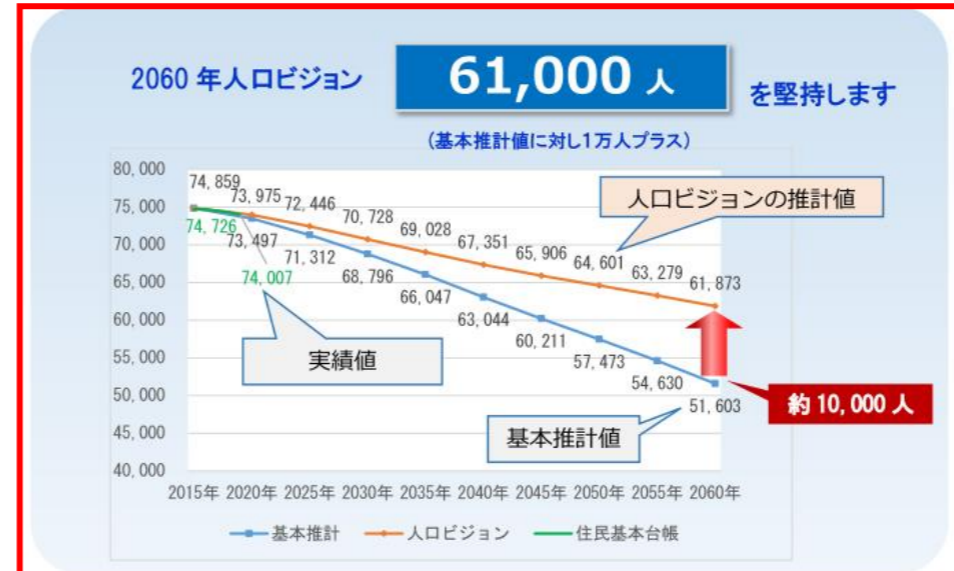
犬山市の人口は、このまま何もしないと令和42（2060）年には約51,000人に減少する見込みです。（基本推計※）
 犬山市では、出生率や社会移動率の改善によって人口減少を抑制し、令和42（2060）年の人口が約60,000人となることを目指します。
 ※国勢調査値による国立社会保障人口問題研究所の推計を基に、移動率について、より直近の値に置き換えて求めた推計値



1章 人口ビジョン

1 将来人口の目標をどこに置くのか？ 人口ビジョン

第1期のいいね！いぬやま総合戦略では、2060年の人口ビジョンを61,000人としています。これは、何も手を打たない状態（基本推計※）では、2060年に約51,000人になってしまう人口を、約1万人増やそうというものでした。
 平成31（2019）年4月1日の住民基本台帳における犬山市の人口は74,007人となっておりますが、第2期においても、第1期の人口ビジョンをそのまま引き継ぎ、2060年に61,000人を堅持するため、総合戦略の実施に取り組みます。※国勢調査値による国立社会保障人口問題研究所の推計を基に、移動率について、より直近の値に置き換えて求めた推計値



● 目標人口 61,000 人達成のために何が必要なのか？

出生率を高めます

(合計特殊出生率)

2015年:1.57→2040年:2.07の実現

国及び愛知県人口ビジョンに準拠する出生率の確保

- ◆若い世代の婚姻率を高める
- ◆市民の出産・子育ての希望を叶える

移動率を改善します

移動率改善(0~9、25~34歳移動増60人/年) ※2014年比

- ◆若年世帯の転出を抑えつつ、転入増を誘導する
- ◆居住地として選ばれるよう魅力を高める

① 目標人口の更新とともに、文章を簡潔にしています。

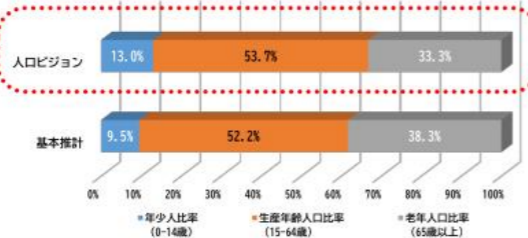
② 目標人口及びグラフを更新しています。

③ 目標人口、合計特殊出生率、移動率改善の記載を更新し、次頁に掲載しています。
 なお、合計特殊出生率について、新たな人口ビジョンでは厚生労働省の「人口動態統計特殊報告」における数値を採用していますので、「国及び愛知県人口ビジョンに準拠する出生率の確保」は削除します。

●60,000 人を達成すると何がかわるのか？

年齢構成比が改善

地域経済の縮小や担い手不足、税収の減少等に対応するためにも、若い世代の構成比を高めることが重要です。60,000 人の人口ビジョン(人口の目標)を達成する中で、少子高齢化の傾向に歯止めをかけ、生産年齢人口の維持につなげるにより行政サービスを維持し、持続可能なまちが実現します。



●目標人口 60,000 人達成のために何が必要なのか？

出生率を改善します

(合計特殊出生率)

2015 年:1.36→2040 年:1.55 の実現

- ◆若い世代の婚姻率を高める
- ◆市民の出産・子育ての希望を叶える

移動率を改善します

移動率改善(0~9、30~39 歳移動増)

- ◆若年世帯の転出を抑えつつ、転入増を誘導する
- ◆居住地として選ばれるよう魅力を高める

改善のために

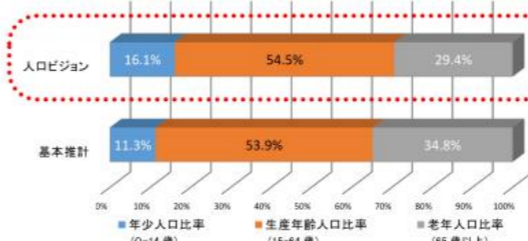
子育て施策の充実、定住促進事業、住環境の整備、シティプロモーションの展開など

実現のためには、犬山に必要な「具体的な戦略」が求められます

●61,000 人を達成すると何がかわるのか？

年齢構成比が改善

地域経済の縮小や担い手不足、税収の減少等に対応するためにも、若い世代の構成比を高めることが重要です。61,000 人の人口ビジョン(人口の目標)を達成する中で、少子高齢化の傾向に歯止めをかけ、生産年齢人口の維持につなげるにより行政サービスを維持し、持続可能なまちが実現します。



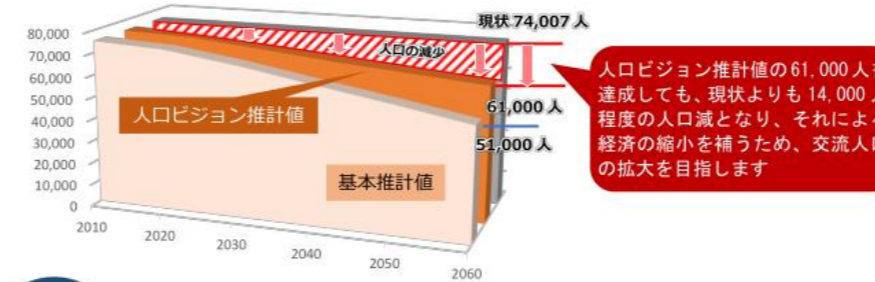
改善のために

子育て施策の充実、定住促進事業、住環境の整備など

●人口減少を補うことが必要ではないか？

犬山市に訪れる人を増やします

人口ビジョンの総人口(2060 年)は 61,000 人ですが、ピーク時の人口と比べると 14,000 人近くの人口が減少することになります。一方で、観光客数は増加を続けています。通勤・通学などによる昼間人口やインバウンドを含む観光、短期居住など広い意味での交流人口は、消費による地域経済の活性化につながり、地域の賑わいを取り戻すために大きな役割が期待できます。定住促進に加え、交流人口を意識したまちづくりを進めることが重要です。



改善のために

シティプロモーションの展開、観光振興など

実現のためには、犬山に必要な「具体的な戦略」が求められます

① 目標人口を更新しました。また、グラフを新しい人口ビジョンの情報に合わせています。

② 前頁③参照。

③ 新たな人口ビジョンでは、目標人口を①出生率の上昇と②移動率の上昇による達成を目指すとしていることから、当該箇所を削除しました。

④ 改善のために必要な施策を一か所に整理しました。③の削除に合わせ、「観光振興」を削除しています。

2章 いいね！いぬやま総合戦略

1 総合戦略の基本的な考え方

総合戦略では、人口ビジョンに示した、人口減少状況を改善し、目標とする人口 **60,000人** を達成するとともに、経済の縮小を改善していくため、今後5年間に取り組むべき目標と事業を設定します。

戦略策定の目的

①人口減少を食い止める

【人口ビジョン】
2060年の総人口 **60,000人** を達成するには
出生率の向上 移動率の改善 **が必要**

②経済の縮小を改善する

上記2つの目的に特化した5年間に取り組むべき目標と事業の設定が必要

戦略策定の考え方(視点)

新しい価値の創造

新しくゼロから生み出すことはもちろん、今ある制度や仕組みを工夫したり、異なる分野を掛け合わせたりして新しい価値を創り出し、より良い施策展開につなげます。

地域資源をフル活用

地域にある多様な資源を磨き上げ、フル活用します。

チャレンジと突破

様々な分野において課題の本質を捉え、打開する方法を見つけ、市をあげてあらゆる手段を尽くしてチャレンジします。そして突破を図ります。

人づくりを強く意識

最も大切なのは「人」。人と人とのふれあいを大切にし、地域を愛する気持ちを高めることにより、誰もが活躍できる、誰もが行ってみたいくなる、住み続けたいくなる、そして豊かな気持ちを感じるまちになることができると考えます。

2章 いいね！いぬやま総合戦略

1 総合戦略の基本的な考え方

総合戦略では、人口ビジョンに示した、人口減少状況を改善し、目標とする人口 **61,000人** を達成するとともに、経済の縮小を改善していくため、今後5年間に取り組むべき目標と事業を設定します。

戦略策定の目的

①人口減少を食い止める

【人口ビジョン】
2060年の総人口 **61,000人** を達成するには
出生率の向上 移動率の改善 交流人口(滞在人口)の拡大 **が必要**

②経済の縮小を改善する

上記2つの目的に特化した5年間に取り組むべき目標と事業の設定が必要

戦略策定の考え方(視点)

新しい価値の創造

新しくゼロから生み出すことはもちろん、今ある制度や仕組みを工夫したり、異なる分野を掛け合わせたりして新しい価値を創り出し、より良い施策展開につなげます。

地域資源をフル活用

地域にある多様な資源を磨き上げ、フル活用します。

チャレンジと突破

様々な分野において課題の本質を捉え、打開する方法を見つけ、市をあげてあらゆる手段を尽くしてチャレンジします。そして突破を図ります。

人づくりを強く意識

最も大切なのは「人」。人と人とのふれあいを大切にし、地域を愛する気持ちを高めることにより、誰もが活躍できる、誰もが行ってみたいくなる、住み続けたいくなる、そして豊かな気持ちを感じるまちになることができると考えます。

①
目標人口を更新しました。

②
新旧対照表1P①参照。

3 第1期総合戦略の達成状況

いいね！いぬやま総合戦略では、人口ビジョンとKPI（目標指標）といった数値目標を設定しています。これらの数値目標を使って、第1期総合戦略の達成状況を確認します。

KPIの達成状況

基本目標 気持ちいい住環境「暮らしたいまちがある」

KPI（目標指標）	策定時	目標値	現状値	達成状況
合計特殊出生率	1.57 (平成26年)	1.63 (令和元年)	-	不明※1
社会移動人口	-85 (平成26年)	0 (令和元年)	224 (令和元年)	達成
今後も犬山市に住み続けたいと考える市民の割合	83% (平成26年)	90.0% (令和元年)	90.9% (令和元年)	達成

※1 合計特殊出生率について
平成26年以降の合計特殊出生率を把握できていない。令和2年1月現在、厚生労働省が公表準備中。
【注意】本頁の「合計特殊出生率」については、令和5年5月改訂の内容を反映していませんので、他頁の数値と異なっています。

基本目標 居場所と出番「活躍したいまちがある」

KPI（目標指標）	策定時	目標値	現状値	達成状況
事業所数	2,673 (平成26年)	2,726 (令和元年)	-	未達成※2 (見込み)
市民活動に参加している市民の割合	11.0% (平成26年)	18.0% (令和元年)	8.7% (令和元年)	未達成

※2 事業所数について
平成26年数字 ①民営事業所数 [2,565] + ②公務（全産業（S公務を除く）） [108] = 2,673 【経済センサス基礎調査】
平成28年数字 ①民営事業所数 [2,545] + ②公務（全産業（S公務を除く）） [不明] = 不明 【経済センサス活動調査】
平成28年の調査では、②公務にかかる数字が不明のため、同一の数字で達成状況を図ることはできないが、民営事業所数は減少しており、KPIは未達成（見込み）とした。

基本目標 人の交流「訪れたいまちがある」

KPI（目標指標）	策定時	目標値	現状値	達成状況
観光入込客数	563万人 (平成26年度)	586万人 (令和元年度)	573万人 (平成30年度)	未達成 (見込み)
犬山市のまちに愛着を感じる市民の割合	78.1% (平成26年)	85.1% (令和元年)	81.4% (令和元年)	未達成

9

3 第1期総合戦略の達成状況

いいね！いぬやま総合戦略では、人口ビジョンとKPI（目標指標）といった数値目標を設定しています。これらの数値目標を使って、第1期総合戦略の達成状況を確認します。

KPIの達成状況

基本目標 気持ちいい住環境「暮らしたいまちがある」

KPI（目標指標）	策定時	目標値	現状値	達成状況
合計特殊出生率	1.57 (平成26年)	1.63 (令和元年)	-	不明※1
社会移動人口	-85 (平成26年)	0 (令和元年)	224 (令和元年)	達成
今後も犬山市に住み続けたいと考える市民の割合	83% (平成26年)	90.0% (令和元年)	90.9% (令和元年)	達成

※1 合計特殊出生率について
平成26年以降の合計特殊出生率を把握できていない。令和2年1月現在、厚生労働省が公表準備中。

基本目標 居場所と出番「活躍したいまちがある」

KPI（目標指標）	策定時	目標値	現状値	達成状況
事業所数	2,673 (平成26年)	2,726 (令和元年)	-	未達成※2 (見込み)
市民活動に参加している市民の割合	11.0% (平成26年)	18.0% (令和元年)	8.7% (令和元年)	未達成

※2 事業所数について
平成26年数字 ①民営事業所数 [2,565] + ②公務（全産業（S公務を除く）） [108] = 2,673 【経済センサス基礎調査】
平成28年数字 ①民営事業所数 [2,545] + ②公務（全産業（S公務を除く）） [不明] = 不明 【経済センサス活動調査】
平成28年の調査では、②公務にかかる数字が不明のため、同一の数字で達成状況を図ることはできないが、民営事業所数は減少しており、KPIは未達成（見込み）とした。

基本目標 人の交流「訪れたいまちがある」

KPI（目標指標）	策定時	目標値	現状値	達成状況
観光入込客数	563万人 (平成26年度)	586万人 (令和元年度)	573万人 (平成30年度)	未達成 (見込み)
犬山市のまちに愛着を感じる市民の割合	78.1% (平成26年)	85.1% (令和元年)	81.4% (令和元年)	未達成

9

①
本頁は第1期総合戦略の内容となるため、新たな人口ビジョンの内容を反映させていません。
合計特殊出生率の数値が異なることを、【注意】で示しています。

基本目標 気持ちいい住環境



特徴と課題

- 自然(緑)が多い。
- 災害が少ない(災害に強い)。
- 市内で買い物をする人の割合が低い。
- 若者の流出(20歳代)が多い。子どもの生まれる数も減少。子育てしやすい環境と支援が必要

ねらい 住んでほしい 住み続けてほしい!

5年間のすすめかた

- 幹線道路沿いの商業施設誘致にチャレンジ。買い物の不便さを解消し、生活都市としての魅力を高めます。
- 「自然や“農”が近くにある暮らし」など、犬山ならではの新たな暮らし方の価値観を提案。「住むまち」としての魅力を市内外に効果的に発信することで、都市ブランド力を高め、「住みたいまち」を実現します。
- 定住を促すため、空き家や低・未利用地の利活用、民間活力を活かした住宅の整備など、魅力ある住環境づくりに挑戦します。
- 幹線道路や鉄道駅を核として、買い物や交通の利便性の良さを活かした「まちの魅力」を向上します。
- 若者世代、子育て世代の市内定住に向け、U I Jターン、就業の支援に加え、子育てと仕事の両立のため、多様な子育て支援を展開。小児医療や教育環境の充実なども加えて、若者が安心して結婚し、子を産み、育てることができる社会の実現に挑戦します。



基本目標 気持ちいい住環境



特徴と課題

- 自然(緑)が多い。
- 災害が少ない(災害に強い)。
- 市内で買い物をする人の割合が低い。
- 若者の流出(20歳代)が多い。子どもの生まれる数も減少。子育てしやすい環境と支援が必要

ねらい 住んでほしい 住み続けてほしい!

5年間のすすめかた

- 幹線道路沿いの商業施設誘致にチャレンジ。買い物の不便さを解消し、生活都市としての魅力を高めます。
- 「自然や“農”が近くにある暮らし」など、犬山ならではの新たな暮らし方の価値観を提案。「住むまち」としての魅力を市内外に効果的に発信することで、都市ブランド力を高め、「住みたいまち」を実現します。
- 定住を促すため、空き家や低・未利用地の利活用、民間活力を活かした住宅の整備など、魅力ある住環境づくりに挑戦します。
- 幹線道路や鉄道駅を核として、買い物や交通の利便性の良さを活かした「まちの魅力」を向上します。
- 若者世代、子育て世代の市内定住に向け、U I Jターン、就業の支援に加え、子育てと仕事の両立のため、多様な子育て支援を展開。小児医療や教育環境の充実なども加えて、若者が安心して結婚し、子を産み、育てることができる社会の実現に挑戦します。



- ① 合計特殊出生率の KPI を更新しました。
新たな人口ビジョンでは、2025 (R7) 年に 1.40 を目標としています。
また、目標年次の表記方法を、厚生労働省の「人口動態統計特殊報告」と合わせています。